

# 高松サンプォートの中核として、様々なシーンに対応できる多機能複合型アリーナをつくります



## 人々を海へと誘う通り抜け歩行者通路「風のみち」

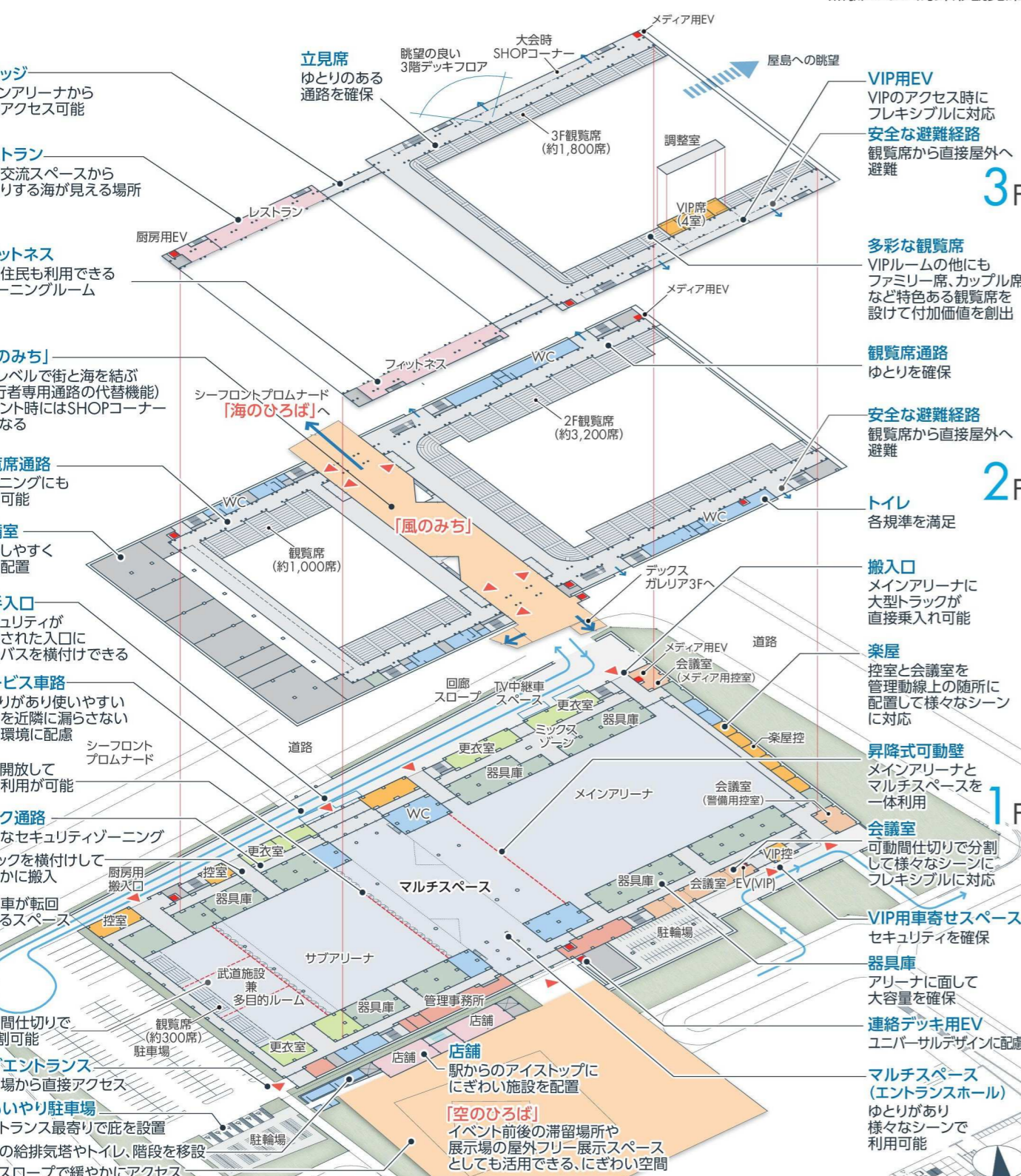
イベント時にメインの観客動線となる2階レベルの通路「風のみち」は、多目的広場からシーフロントプロムナードへ通り抜ける開放された歩行者専用通路でもあります。瀬戸内海へ視線が突き抜ける眺望は人々を海へと誘います。

## 収益性の高い「総合エンターテイメント型アリーナ」

スポーツ施設は従来型の体育館から高い収益性が得られるエンターテイメントとしての要素を加えたアリーナ施設とすることが求められています。「観る」「見せる」「楽しむ」「交流」の場として顧客経験価値を最大化する視点から、多様なコンテンツに対応できる「総合エンターテイメント型アリーナ」を提案します。

## 無駄を省いた「サステナブルアリーナ」

舞台設備や可動席などは施設で備えず、イベント毎の持ち込み仮設対応とすることで、インシヤルコストを抑え、維持管理の手間が省けて応用も利く「サステナブルアリーナ」とします。サービス車路から大型搬入口で各アリーナと直結し、迅速なイベントの準備撤去作業を可能とし、アリーナの稼働効率を上げます。骨太なバックゾーンインフラとして、交錯しないバック動線、アリーナに面する大容量の器具庫、ゆとりのある床耐荷重や電源容量を確保します。



フレキシビリティが高い平面計画

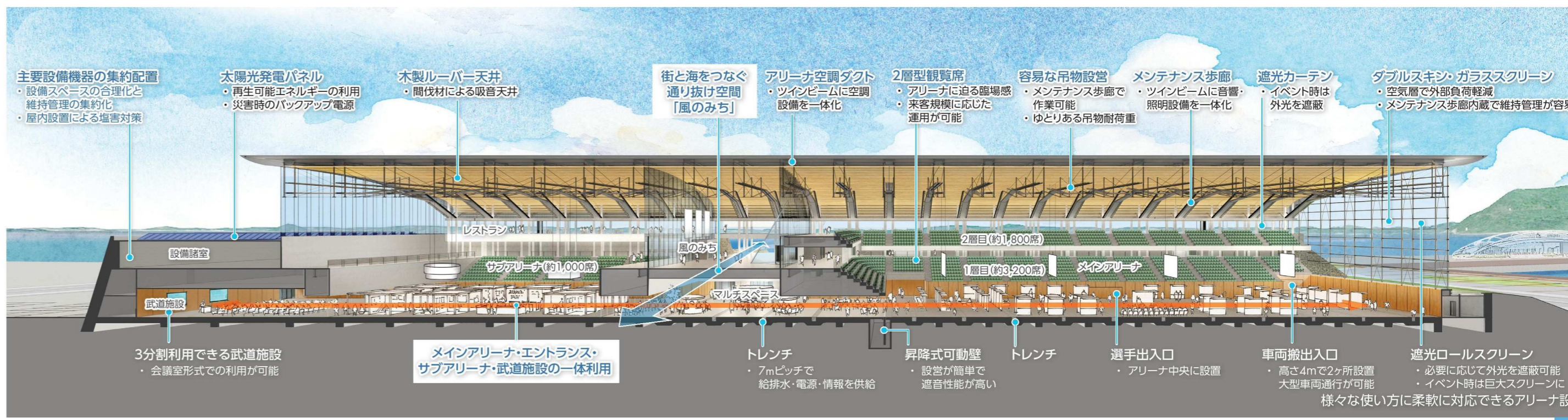
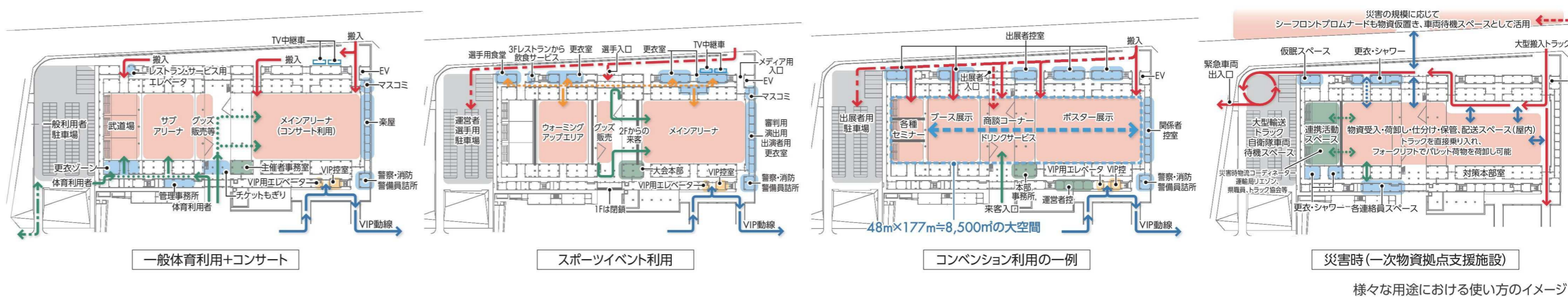


## 瀬戸内の景観をアリーナに取り込む「馬蹄形観覧席配置」

メインアリーナの観覧席は「馬蹄形」とすることで、香川のランドマークでもある屋島への劇的な眺望を確保し、瀬戸内の景観を身近に感じることができる、香川ならではの付加価値の高いアリーナとします。

## コンベンションや災害時にも対応できる「直列型アリーナ配置」

「直列型アリーナ配置」により、日常的な体育館機能はもちろん、プロスポーツイベント、コンサート、展示会等のコンベンション的な用途にも柔軟かつダイナミックに対応できます。メインアリーナとマルチスペースの間の壁は「昇降式可動壁」とすることでコンベンション利用時に空間を一体化して使うことができます。また、本施設は災害時における救援物資の一次(広域)物資拠点支援施設として位置づけられており、フレキシブルな大空間は物資の仮置き、仕分け等に対しても有効に機能します。



2. 時代とともに歩める使いやすい施設の機能性 / 3. 利用者が時間と空間を共有する喜びを体験できる空間づくり